

謹賀新年



昭和59年 元旦



發行所
西原町役場
〒903-01
西原町字嘉手苅 112番地
電話 (09894) -5-453
印刷
近代美術社

(昭和58年11月末現在)

世帯数 4,989世帯
人口 19,111人
男 9,628人
女 9,483人
11月の人口移動
出生 36人 死亡 2人
転入 128人 転出 82人
婚姻 15件 離婚 7件

年頭のあいさつ

西原町長 宮平吉太郎



町民の皆様、明けましておめで
とうございます。輝かしい昭和五

年頭のあいさつ

西原町議会議長 親泊輝武



明けましておめでとうござい
ます。

さわやかな新春を迎え、希望に満ちた昭和五十九年の年頭にあたり町民各位の御繁栄を心からお祈りいたします。

御承知のように本町も今年で町制施行五周年を迎え、内外ともに厳しい経済環境、財政状況の中で豊かで住みよい活力ある町づくりを目指して、一步一步着実に発展の基盤を固めつつありますことは誠に喜びにたえません。これもひ

十九年の新春を迎え、町民の皆様に
はお健やかに御越年のことと存
じます。おかげ様で私も村長及び
町長に就任して早や十六年目の新
春を迎えました。

昨年、西原町政各般について、いそうお世話になりましたが、本年もみんなで助け合っていく心の触れ合うコミュニティづくりを目指して懸命の努力を続けます。

この輝かしい新春に当たり、本年も町民の健康づくりと町民の交流の拠点となる西原運動公園の建設をマスタープランに基づいて推進するとともに町民福祉の向上、緑化推進及び住みよい町づくり、更に町政発展のために全職員が一丸となって町民優先の行政を推進する決意を新たにしています。

本町の子算も、年々の本町の人口増加に伴い行政需要が大幅に拡大してきましたが、反面国内経済の落ち込みなどとも関連して地方

とえに町民各位の日頃の町政への御理解と御協力の賜ものと心から感謝申し上げます。

さて、この一年を振り返ってみますと、内外ともに厳しい年でありました。

国の行政改革による地方財政への影響は大きく、町財政もかつてない超緊縮型予算の編成を余儀なくされ、町民の福祉向上にかかわ

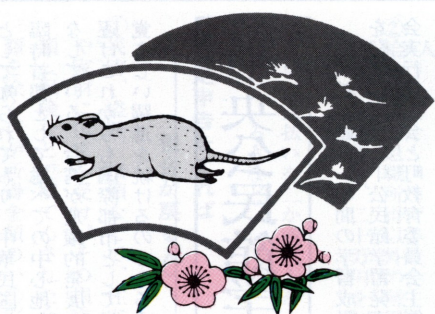
る予算の確保に苦慮した年でありました。むろん国の行政改革による地方財政への影響は、これからなお厳しさは増していくものと

予想され、限られた財源で、しかも年々増大していく財政需要に如何に対応し、住民の福祉向上を図っていくことは、行政に課された

大きな課題であり、財政運営の質的転換が必要になって参ります。

財政運営の基本は、最少の経費で最大の効果をあげることにあり

行政の能率化、効率化が従来にもまして地方行政に求められていることは申すまでもありません。かかる厳しい財政環境の中にあ



分を自覚し、初心にかえって議決機関の権限である行政の批判監視機能、政策立案機能を充分發揮し、町民福祉の向上、町発展に今後とも努力して参りたいと存じます。

最後に、希望に満ちた昭和五十九年の門出に際し、町民各位の御褒栄、御多幸を心から祈念し、新年のごあいさついたします。

とっております。

今後とも、諸問題の解決に当たっては、議会及び住民のコンセンサスを得ながら進めてまいります。

町民の皆様、なにとぞ本年も町政に対しこれまで同様御指導、御協力を賜りますようお願い申し上げます。皆様方の益々の御健勝と御多幸をお祈り申し上げます。新年のごあいさつと致します。

交付税や町税の大幅増収は期待できないことから緊縮予算になることが予想されています。国の行政改革の影響で町民の生活も厳しい状況になるものと思われそうですが新しい決意をもって昭和五十九年に向って一層努力をし、活力のあるよい年にしていきたいものでもあります。

昨年も本町の人口は、約千二百人増加し、一万九千人を超え、一万人に達するもの間近い状況でありまして年ごとに発展の一途をなっております。

あけましておめでとうございます

議員	副議長	議長
翁長 正吉	城間 光雄	親泊 輝武
与那城長助		
崎原 盛善		
新川 康之		
座波 進		
新垣 和男		
大城 盛孝		
上亀 直一		
稲福 勝美		
新垣 盛光		
玉城 守市		
稲福 恭助		
富 春治		
宮平 宗輔		
中山 正徳		
屋良 朝光		
前里 光信		
大嶺 盛義		
新垣 常夫		
比嘉 昭幸		

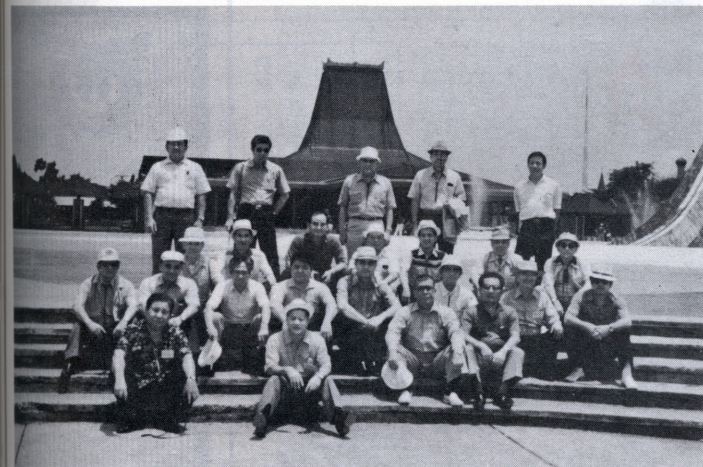
西原町議会

あけましておめでとうございます

町長	助役	収入役	教育長	総務課長	企画課長	住民課長	福祉課長	税務課長	評価・固定資産課長	年金課長	産業課長	都市課長	計画課長	土木課長	水道課長	教育課長	農業委員会事務局長	議事務局長
宮平吉太郎	平安 恒政	翁長 正昌	小川 正元	小川 良夫	糸数 雄介	上地 安治	富平 宗益	呉屋 厚雄	平良 栄一	泉川 利夫	玉那覇 三郎	与儀 博彦	城間 太郎	翁長 正直	与古田 光順	佐久川 正信	呉屋 仁一	

西原町役場

思いやり、ゆずる心で防ぐ事故



7日目の訪問国インドネシアのジャカルタで行政視察団一行全員との記念撮影

国際化時代における私達は広く海外に眼を向けるため、本県と最も地理的にも歴史的にも深いかわりをもっている東南アジアの行政視察研修を目的に第二班として総勢二十四名の視察団が那覇空港控室で結団式を終え、十月三十日那覇国際空港を立ち、香港経由タイ、マレーシア、シンガポール、インドネシア、台湾の五カ国を視察研修し、無事十一月九日（十一日間）所期の目的を達成し帰国致しました。

人間だれしも他国に行く場合一応の不安要素をもつのが普通だと考えております。

私は、偶然飛行機の中である新聞に目を通しているうちに東南アジアは世界の他の地域に比べ依然として平和で安定しているとの記事を見て一応の安堵感を深めたのであります。

さらに東南アジアのことについて先輩や同僚から何度か話を聞かされ、想像以上に参考になりました。

この度、県町村会の東南アジア行政視察団として参加する機会を得て生涯に貴重な経験を生かすことができました。しかも視察研修が恵まれた天候の中で予定通り順調に行うことができた裏には親切に御案内して下さいました国際旅行社の関係者の方々に団長として厚くお礼を申し上げます。

わずか十一日間という短かい期間でその国の国情、風俗、習慣などについて詳しく述べるとはできませんが、生き生きとした国民の見事な向上ぶりは各国共に共通して言える事だと思えます。

次に私は東南アジア諸国に対する理解と認識を更に深めたものと確信いたしております。

最後に参観地の実情と学んだことの感想について述べて見たいと思います。

一日目の訪問国である仏教国タイの首都バンコックは、人口五〇〇万人で伝統ある仏教文化の上に築かれた所で、集落を形成した所には必ず寺院がある町は高層ビルが建ち並び幅広い道路には並木で町全体緑に覆われている感じがする。

タイ国は、日本の約一・四倍で、その大半が高原と平野で米作地帯として知られており、水田が平野地帯は排水機能が悪く沼地と水上生活者が約一千万人いると言われ、これ等の水上生活者は、沼地と河川の両側を生活の根拠としている。河川は彼らにとって重要な交通路としての役割を果たしていると言ったことを聞かされた。治水対策はタイにとっては、今後緊急の課題であることを痛感した。

教育面では、特質があり、日本と同じような六、三、三制度であるが六ヶ年間が義務教育である。大学を卒業しなければ就職できないという労働賃金が低いと言われているが、反面物価もまた安い状況にある。

バンコック最後の日、ホテルで国際交流基金バンコック事務所の所長田中稔久氏との懇親夕食会を催し、当地の状況について説明をうけ、意見の交換など有意義な中に終わった。

四日目の訪問国マレーシアの首都クアラルンプールは政治経済の中心地で百年前ジャングル地帯であったとのこと、しかし今や市街地の至る所に近代的な高層ビルの建築ラッシュで町全体が活気づいた感じがした。特に緑の街路樹の並木は国国情の特性等を生かし緑豊かな都市づくりがなされている印象を受けた。

交通は左側通行で人間優先でなく車優先の交通システムが採られている。また、幹線道路の両側には至る所に吸殻入れが設置され、道路はゴミ一つなくきれいで清潔感があった。もしタバコの吸殻や紙屑を捨てると日本円の五万円の罰金が科せられるという。

対日感情は至ってよいと云われているが、資源が豊富で主な産物はゴム、錫、ヤシ油、木材、石油、コブラなどである。地震や台風がなく四季の区別もなく住みやすい所であると痛感した。

五日目の訪問国シンガポール島は周辺の島々から成る日本の淡路島ほどの面積を有していると言われる。住民の七十七％が中国系で人口は二五〇万人と言われ日本人は一万八千人も在留している。

シンガポールは東西交通貿易の要路として今日の繁栄を見て国際都市としての地位を占めている市街地は道路が広く整然とした道路網は体系的に整備が図られている現状である。反面島全体が公園化されているような美しい町の様相を呈している。歩道は樹木が陰をつくり、歩道を歩いても暑さを感じさせない。バスガイドの説明によると特に政府が毎年植樹日を設定して苗木を配り計画的な植樹で緑豊かな国づくりの先進地としても知られていると言った。

シンガポール経済は順調に伸びるその要因は工業化の促進が予想以上に成功を遂げるとともに近隣諸国における海底油田の開発ラッシュによる当地への資金の流入、そして世界的な貿易拡大とくにインドネシア貿易の活況に支えられている。

中継貿易の伸長などが上げられると言った。

とくにシンガポールは東南アジアで一番美しい町として定評があり、その陰には衛生面も非常に厳しいと言った。また、私達には市街地にアパートが多いことも目についた。これは政府の施策によって国民の八〇％以上がアパートに入居させ生活させる方針が確立され、個人住宅は少ないように見えた。観光客は、どこを見ても日本人が多く海外にきた感じがしなかった。

六日目の訪問国インドネシアは、一万三千余の島々からなる島国、しかもアメリカの半分の面積を有し人口一億五千万人をかえ二十七日州が置かれ多種多様な文化がある。まづインドネシアの首都ジャカルタは人口六〇〇万人、諸官庁、ホテルなどが建ち並ぶ近代的な町並は国際的な様相を備えている。

私は、当地に着いた晩、旅装を解きジャカルタ日本文化センター所長椎名和男氏との懇親夕食会を催し、現地の状況の説明を受けた後、意見交換の機会が得られ大変勉強になりました。とくに輸出の六割が石油で占めているが今のうちに石油が値下げされた場合の措置として今後は石油依存度の輸出を改善することにも努めなければならぬと言った。

戦前インドネシアは沖縄の漁民が多く現地人に対して近代的漁法を教えた。市街地及び郊外とも車が多く車社会であるが、反面交通安全施設が少く交通渋滞が至る所で見受けられた。

滞在中、思い出の一つとしてレストランで昼食をしながらショーを觀賞し最後は現地の音楽に合せて一緒に踊った。

インドネシアの二日目はジャカルタ発バリ島へ飛行機で約一時間三〇分、人口七万人で同島が誇る木彫り、パテック、金銀細工などで知られている所を視察した。

東南アジアを見て

西原町長 宮平吉太郎

客は、どこを見ても日本人が多く海外にきた感じがしなかった。

七日目の訪問国インドネシアは、一万三千余の島々からなる島国、しかもアメリカの半分の面積を有し人口一億五千万人をかえ二十七日州が置かれ多種多様な文化がある。まづインドネシアの首都ジャカルタは人口六〇〇万人、諸官庁、ホテルなどが建ち並ぶ近代的な町並は国際的な様相を備えている。

私は、当地に着いた晩、旅装を解きジャカルタ日本文化センター所長椎名和男氏との懇親夕食会を催し、現地の状況の説明を受けた後、意見交換の機会が得られ大変勉強になりました。とくに輸出の六割が石油で占めているが今のうちに石油が値下げされた場合の措置として今後は石油依存度の輸出を改善することにも努めなければならぬと言った。

戦前インドネシアは沖縄の漁民が多く現地人に対して近代的漁法を教えた。市街地及び郊外とも車が多く車社会であるが、反面交通安全施設が少く交通渋滞が至る所で見受けられた。

滞在中、思い出の一つとしてレストランで昼食をしながらショーを觀賞し最後は現地の音楽に合せて一緒に踊った。

インドネシアの二日目はジャカルタ発バリ島へ飛行機で約一時間三〇分、人口七万人で同島が誇る木彫り、パテック、金銀細工などで知られている所を視察した。

中央公民館学習発表会賑わう

公民館活動の一年間の学習成果を発表しようとして公民館学習発表会実行委員会と町教育委員会主催の昭和五十八年度町中央公民館サークル学習発表会が十一月二十六日（午後）と二十七日（午前・午後）の両日、同公民館で盛大に行われ賑わった。

発表会では、上映会、前夜祭、手作り講習会、舞台発表、後夜祭などが行われたほか、生花、書道、西筆、手芸品などの展示や硬式・軟式テニスの一日入門教室も開かれ盛況であった。

レディースローンテニスクラブほか十九のサークルクラブが参加し、日頃の活動状況のビジュアルに努め、広く町民にサークルへの参加を呼びかけた。

技能士通信講座のお知らせ

職場での技能の裏付けとなる専門的知識を自分のスケジュールに合わせて習得できます。

一、科目

- 機械、板金、配管、製図、建築科

二級 一級の全科、鉄鉄（綱）鋳物、製缶、塗装、とび、左官、木工、建具、印刷、洋服、時計、修理、広告美術科

二、受講資格 実務経験があればだれでも受講できます。

三、特典 技能検定受験の際、学科試験が免除されます。

※お問い合わせは、〒二二九一神奈川県相模原市相原一九六〇の職業訓練校（電話〇四二七一一一一）又は相模原市総合高等職業訓練校（電話〇九八九八一一三〇〇）へして

はたち、のみなさん国民年金に加入しましょう。

「はたちの実感」をつかむ

はたちになると、大人としての責任が自分の意思とは関係なしにのしかけてきます。これは、一人の人間としての判断・行動が、社会的にも法的にも認められたということです。

法律

社会人として扱われる

わたしたちの生活に密着している法律、民法では、未成年で結婚している場合を除き、「満二十歳以上で成年トス（第三条）」と明記されており、はたちになって初めて、社会的・法的に一人前の社会人として扱われることとなります（未成年者が婚姻したときは、これによって成年に達したものとみなされます。民法第七五三条）。

では、一人前の社会人として扱われるようになるには、具体的にどのようなことなのでしょうか。

▼財産の処分、金銭の貸し借り
小遣いなどを別にすれば、未成年者はたとえ自分の財産であっても、保護者の承諾なしに売ったり買ったりできません。成人だけで結婚できます。

▼結婚
男は十八歳、女は十六歳になると結婚できます。ただし、これは父母の同意があればの話です。はたちになると、二人の意思だけで結婚できます。

▼養子縁組
未成年者が養子になるときは、原則として家庭裁判所の許可が必要でした。しかし、はたちになると自分の意思だけで、だれの養子にもなることができ、さらには養子をもらうこともできます。

▼就職
成人になると、保護者の同意がなくても職業に就くことができます。

▼養子縁組
未成年者が養子になるときは、原則として家庭裁判所の許可が必要でした。しかし、はたちになると自分の意思だけで、だれの養子にもなることができ、さらには養子をもらうこともできます。

成人式のお知らせ

本町では、法律的にも、社会的にも一人前の人間としての義務と権利を有する成人の日を迎えにされる方々の新しい門出を祝福する成人式が次の通り行われます。成人者並びに関係者の方々はお繰り合せの上、ぜひ御出席下さい。

お問い合せは町総務課へ。
(電話 五〇一五〇一)

年金

いざというときに備える

はたちになったばかりなのに、年金の話なんて思うかもしれません。しかし、年金はお年寄りだけのものではありません。

年金は、お互いに協力し合って将来に備える「貯金」であると同時に、交通事故など不慮の場合に役立つ「保険」なのです。日本に住んでいる二十歳から五十九歳までは、それぞれに年金の準備が義務づけられています。

で、人は、八種類ある年金のどれかに入らなければなりません。

はたちになったら国民年金

従業員が五人以上の会社や役所、学校などに勤めて給与をもらっている人は、厚生年金、共済組合といった年金に自動的に加入しています。

しかし、それ以外の、例えば自

選挙

人を見る目が問われる

はたちになると、選挙権が与えられます。わたしたちは、この選挙権を、投票という形で行使することにより政治に参加します。

ところが、だれに投票しても同じと棄権してしまう人がいます。また「自分の考えと候補者の公約が一致しない」といった理由で棄権する人もいます。

これは、あなたの意思は少しも政治に反映されません。逆に、自分ではふさわしくないと考えている人が当選する、という結果を招かないとも限りません。

つまり、これから手にする一票は、自分の代弁者を選ぶと同時に、権する人もいます。

これは、あなたの意思は少しも政治に反映されません。逆に、自分ではふさわしくないと考えている人が当選する、という結果を招かないとも限りません。

歳末助け合い募金

昭和五十八年歳末助け合い募金として町社会福祉協議会に総額二〇五万六、四九九円が寄せられ、そのお金は、十二月二十六日、町内の一人暮らし老人、母子、父子家庭、長期療養家庭、障害者家庭、ねたきり老人家庭、要援護家庭、困窮多子家庭など一〇九世帯に義援金と物品にして贈られた。

尚、募金内訳は次の通り。

▼戸別募金（一区一十六区）
三三万八、九五三元

職域及び団体募金

長嶺内科医院（浦添市牧港） 九万一、〇〇〇円
城間内科医院（西原町翁長） 九万一、〇〇〇円
待俣内科医院（浦添市内間） 九万一、〇〇〇円
南石石油株式会社 六万六千円
屋比久建設株式会社 三万六千円
西原三育教会三育小学校三万六千円
愛知保育園園児、父兄、職員 一万五、〇七三元
町議会議員 二万二千円
町役場職員 五万、六九四円
松田商店 しゅう油三百本

宮城重機

個人募金 具志千代七、四二八円
山田親次五、四二二円
山田親度一、一〇〇円
宮平春子一、〇〇二円
新川善彦六、二七〇円
▼チャリティー大会義援金（町商工会） 九万五千元
▼チャリティー花弁即売会収益金（町社協） 七万一、一〇〇円
▼チャリティー演芸の集い義援金（町婦人会） 二〇万円
※12月26日現在集計
歳末助け合い募金に協力された方々の御厚意に対し、この紙面をかりて感謝申し上げます。

十四名の弁士が堂々と発表

町童話お話し大会

小中学生の発表力を高め、豊かな心を育てようとして町PTA連絡協議会（新川雅博会長）主催の第四回西原地区童話お話し発表大会が十二月八日午後二時、中央公民館で行われた。小学生低学年六名、高学年六名、中学生二名計十四名の弁士が一月十四日に宜野湾市内で行われる県大会派遣をかねて約三百五十名の児童の前で堂々と発表した。

審査は、態度、内容、音声の三項目で採点されたが、最優秀として選ばれたのは次の通り。

▼低学年の部 「同じ仲間じゃないか」 幸地秀樹（西原小三年）、「ひよこことねこ」 木村倫子（坂田小二年）

▼高学年の部 「平和につながるやさしい心」 又吉長章（西原東小六年）、「一つぶのみのうつつたえ」 宮平和香子（西原小五年）

▼中学校の部 「将来をみつめて」 与那嶺雄二（西原中一年）、「みつめてみろう中学生生活」 山田優子（西原中二年）

サラリーマンの確定申告

所得税の確定申告
二月十六日～三月十五日



昭和五十八年分の所得税の確定申告は、二月十六日から受付が始まります。

サラリーマンでも確定申告をしなければならない場合があります。また、確定申告をしないとよい人でも、確定申告をしないと源泉徴収された所得税の一部が戻ってくる場合があります。

＜確定申告をしなければならない＞

- 給与の年収が一千万円を超える人
- 給与所得や退職所得以外の所得金額の合計額が、二十万円を超える人
- 給与の支払いを二か所以上から受けている人など

＜確定申告をすれば税金が戻る人＞

- 災害、盗難、横領などで、住宅や家財に損害を受け、その損害額（保険などで補てんされた金額を除く）が所得金額の一〇％を超える人など
- 病気やけがなどで、多額の医療費（保険などで補てんされた金額を除く）を支払った人、ただし、美容整形や健康診断の費用、健康増進のためのビタミン剤などは、医療費に含まれません。
- 住宅を新築したり、購入した人で、民間の金融機関等から住宅ローンの融資を受けている人など

所得税の確定申告の期間は、二月十六日から三月十五日までですが、還付を受けるための申告は、二月十六日以前でも受け付けています。正しい申告を期限内に済ませるようしましょう。

なお、分からない点がありましたら、お気軽に税務相談室にお尋ねください。

成人を迎えられた皆様「はたちの献血」に参加しましょう。

米軍ヘリコプターの不時着 事故に対する抗議決議書

去る十一月十二日午後一時三十分頃、本町宇上原の宅地造成地に、米海兵隊普天間基地所属の輸送ヘリコプターが不時着したことは、誠に遺憾である。



十二月十五日午前、町議会で米軍ヘリコプター不時着事故に対する抗議決議を全会一致で採択した

新聞の報道するところによれば、普天間基地を飛び立つて間もなくギア・ボックスが故障し、同地に不時着したとのことであるが、最近米軍による事故がヘリ事故に限らず、相次いで起きており、とりわけ去る十一月十日にも同様な事故が沖縄市泡瀬のヨットハーバー附近で起きている。

とくに今回の場合、附近住民への被害がなかったのは不幸中の幸いとは言え、その周辺には人家が散在しており、また琉球大学医学部や沖縄電力の変電所等が目と鼻の先にあつて、一歩誤れば、大惨事にもなりかねない危険がまわらない事故である。

かかる事故は、米軍基地があるために発生した事故であり、米軍基地が存在する限り、このような事故が二度と起きないという保障はない。

よつて本町議会は、今回の事故に関し、怒りをこめて抗議すると共に、同該基地の撤去を強く要求する。

右記決議する

昭和五十八年十一月十五日

沖縄県西原町議会

那覇防衛施設局

局長窪田稔殿

在沖米領事館

総領事エドワード・M・ウェザー

ストン殿

町商工会が 歳末義援金を贈る

社会福祉のために歳末助け合いの義援金として町商工会（小橋川英吉会長）から十一月二十五日午前、町社会福祉協議会（宮平吉太郎会長）に九十四万円が贈られた。この義援金は十一月八日、沖縄カントリークラブで行われた第七回歳末助け合いチャリティゴルフ大会の収益金と会員からの募金で集められたもの。

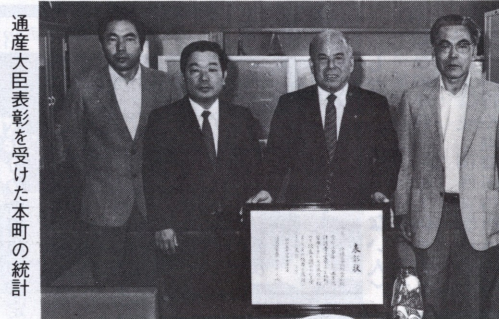
贈呈式は、町商工会の城間副会



長、宮城副会長、与那城事務局長が町役場町長室を訪れ行われた。宮平会長は、町商工会の毎年の善意に感謝し、「町内の困っている方々にその義援金を贈り、温かい正月が迎えられようようにして行きたい」と述べた。

西原ライオンズクラブ 本町に数々のプレゼント

十一月二十日午後二時、西原東小学校で西原ライオンズクラブ（外間尹吉会長）主催のチャリティ



通産大臣表彰を受けた本町の統計

通産大臣賞を受賞

昭和五十八年十二月二日、那覇市内のゆうな荘で開催された第十回沖縄県統計大会において、本

町の多年にわたる工業統計調査の実施成績が優良と認められ、通産産業大臣から初めて表彰された。表彰式では、知事（代理）から平安助役に表彰状と記念品が手渡された。

昭和58年の歩み

- | | | |
|-------------------------------------|--|---|
| ◎一月 | 4日 年始会 | 20日 第17回九州なぎなた大会（中学生演技個人）で西原中の真栄城睦子さん、慶田和子さんが優勝。 |
| 6日 成人式 | 27日 中央公民館サークル学習発表会 | 30日 第28回全琉音楽祭で坂田小音楽クラブが「音楽祭賞」 |
| ◎二月 | 6日 第二回町子ども会学習発表会 | 14日 町心配ごと相談所の相談員委嘱式 |
| 8日 工場畜舎の立入り調査（町公害対策審議委員会） | 19日 町商工会青年部が吸いながら30個、町に寄贈 | 22日 町体協理事會 |
| 18日 地域懇談会（町商工会） | 23日 翁長児童公園開園式 | 24日 第一回翁長走友会駅伝 |
| 18日 沖縄戦没者遺骨収集作業（小波津、幸地などの陣地壕で） | 25日 第一回小波津走友会駅伝 | 30日 昭和58年度町職員採用試験 |
| ◎三月 | 11日 集中豪雨のため各地域 | 12日 西原小学校百周年記念誌受渡式 |
| ◎四月 | 4日 婦人会総会 | 14日 町心配ごと相談所の相談員委嘱式 |
| 6日 町商工会青年部が吸いながら30個、町に寄贈 | 19日 町体協理事會 | 22日 翁長児童公園開園式 |
| 23日 第一回翁長走友会駅伝 | 24日 第一回小波津走友会駅伝 | 25日 第一回小波津走友会駅伝 |
| 30日 昭和58年度町職員採用試験 | 30日 西原小学校百周年記念誌受渡式 | |
| ◎五月 | 14日 小波津児童公園開園式 | 15日 第5回OB・家庭婦人バレーボール大会 |
| 22日 社会教育振興大会 | 27日 町子ども会ジュニアリーダー連絡協議会、町子ども会育成連絡協議会定期総会 | 29日 第一回町老人婦人合同スポーツ大会 |
| ◎六月 | 1日 町交通安全推進協議会定期総会 | 4日 西原東小学校体育館落成式典 |
| 5日 道路排水愛護デー | 10日 町普及事業連絡協議会定期総会 | 12日 各区分抗野球大会 |
| 19日 小波津集落センター落成式 | | |
| ◎七月 | 1日 町青少年健全育成協議会総会 | 2日 町P連定期総会 |
| 3日 町婦人会主張大会 | 12日 各区分抗バスケットボール大会、各区分抗卓球大会 | 14日 巡回行政相談 |
| 16日 町社会福祉協議会評議員会 | 17日 銀バス西原線が山川経由と末吉経由に路線の一部変更 | 18日 第3回町夏季テニス大会 |
| 19日 各区分抗バレーボール大会 | 25日 自転車の乗り方教室、西原小学校 | |
| ◎八月 | 24日 壮年ソフトボール大会 | 31日 第3回町軟式庭球選手権大会 |
| 5日 西原東クラブバレーボールチーム結団式 | 9日 町民体育館建設委員会が発足 | 14日 第3回町少年剣道大会、第1回町なぎなた大会、第1回各区分抗バレーボール大会 |
| 15日 第3回全日本バレーボール小学生大会、西原東小男子チームが準優勝 | 20日 西原東小学校バレーボール選手用の祝勝会 | 20日 第11回中頭郡夏季体育大会、バスケットボール男子、ハンドボール男子優勝 |
| 25日 一人暮らし老人宅に非常ベルを設置、町社協 | | |
| ◎九月 | 27日 安室自治公民館落成祝賀会 | 8日 北部疎開調査、関係者二十一名参加、旧久志村大川、三原、汀間、瀬嵩を調査 |
| 12日 第2回町老人ゲートボール大会 | 16日 町交通安全推進協議会 | 20日 一人住まい老人激励会 |
| 21日 我謝獅子舞20年ぶりに復活 | 24日 我謝の拝所落成と四代目獅子頭復元を祝う祝賀会 | |
| ◎十月 | 8日 県営内開団地第一次入居開始、百二十戸 | 11日 町畜産共進会 |
| 14日 西原運動公園進入道路及び体育館用地造成工事起工式 | 15日 町陸上競技大会 | 16日 町老人クラブ草刈清掃 |
| 18日 町老人クラブ草刈清掃 | 21日 第4回全日本マスターズ陸上競技選手権大会で大城文子さん、45歳女子八百米で日本新記録樹立 | 23日 第11回中頭郡陸上競技大会男子三位 |
| 25日 巡回行政相談 | 28日 町慰霊祭 | 29日 町老人クラブ大会 |
| 30日 翁長獅子舞保存のため撮影会催す | | |
| ◎十一月 | 1日 西原児童館建設工事起工式 | 6日 第3回南部地区家庭婦人バレーボール大会（西原東小体育館で） |
| 12日 米軍ヘリコプターの不時着事故（上原の宅地造成地） | 13日 第19回町青年駅伝大会 | 15日 中頭郡代表選手激励会並びにマスターズ入賞森田孟睦氏、大城文子さん激励会 |
| 23日 第一回九州マーチングコンクールで西原中学校吹奏楽部金賞に輝く | 24日 第42回国民体育大会西原町準備委員会設立総会 | 26日 産業展示会、中央公民館サークル学習発表会、町スポーツ少年団第24回野球大会・第8回女子ソフトボール大会 |
| 28日 小波津産業展示会 | | |
| ◎十二月 | 2日 石油コンビナート等防災訓練（南西石油で） | 9日 第二回町社会福祉大会 |
| 14日 援護業務巡回相談 | 18日 衆議院議員選挙投票 | 22日 不発弾撤去作業（幸地のメデカルセンター病院用地で） |

内間の十二連勝をストップ 小橋川Aが初優勝 第19回町青年大会

各青年会の親睦と融和を深める町青年団体連絡協議会（伊波英正会長）主催の第十九回町青年大会が十一月十三日午前十時から



比屋根付近で再びトップに立ち、小橋川Aの稲福選手（左）

町役場前広場で行われた。内間チームに十二連勝の期待が寄せられていたが、今年は小橋川Aチームが一時間五十九分二秒で初優勝し、内間の連勝記録を阻んだ。

開会式の後、正後に参加十七チームの選手が一斉にスタートし、コザ高校前折り返し六区間（三二・一キロ）で健脚が競われた。

一区の中継地点で十四区、内間、小橋川A、八区、六区Bの順に二区、三区の走者に継いだ。小橋川Aチームは、二区・大城正廣選手の活躍によりトップになり、三区で呉屋孝選手もよく健闘し、ほぼ同時に十四区、小橋川A、内間の順に四区の走者にタッチした。四区、稲福武選手（小橋川A）が、沖縄市比屋根付近で再びトップに立ち、二位をぐんぐん引き離し独走

勢に入った。五区・呉屋梧選手もよく健闘し、アンカーの大城貢選手にタスキを手渡し、さらに二位との差は広がった。大城選手は快調に走り、従来の記録を四六秒短縮する区間新と初優勝を胸にしてゴールした。

尚、成績は次の通り。

▼チーム成績 優勝・小橋川A 1時間59分12秒、東部消防（オプザバー参加）1時間58分12秒、二位・内間2時間2分16秒、三位・十三区2時間9分44秒、南風原町大2時間2分54秒、四位・六区B2時間10分22秒、五位・十四区2時間12分16秒、六位・八区2時間17分34秒。

▼区間賞 一区・与那城実（14区）25分32秒、二区・大城正廣（小橋川A、三区・大城和行（内間）13分21秒、四区・稲福武（小橋川A）21分35秒、五区・大城均（内間）14分53秒、六区・大城貢21分11秒（大会新）

国体西原町準備委員会が発足

本町は第42回国民体育大会の成績男子バスケットボール開催地となっているが、その準備のため十一月二十四日午後二時、中央公民館で第42回国民体育大会西原町準備委員会設立総会（写真）が開かれ、準備経過の報告の後、準備委員会会則案、同委員会五十八年度事業計画案並びに同予算案などの議事が審議され、原案通り承認された。

また、同委員会委員及び役員に委嘱状が手渡された。会長に宮平吉太郎町長、副会長に親泊輝武町議会議員、仲宗根英輝教育委員長、平安恒政助役（兼町体育協会会長）が当たることになった。そのほか常任委員五十二名、監事二名、委員三百二十五名を選出した。

今年度の事業計画としては、①国体開催準備総合計画の策定、②関係機関・団体との連絡調整、③視察、調査員の派遣などを行う予定である。

スポーツ少年団 野球大会

A組嘉手刈ブレイブス優勝

野球を通して青少年の健全育成を図ろうと町スポーツ少年団（稲福勇本部長）主催の第二十四回野球大会が十一月二十六日と二十七日、西原小学校グラウンドと

坂田小学校グラウンドで行われ、A組十一チーム、B組十チームの参加があり賑わった。熱戦の末、A組は嘉手刈ブレイブスが十二区を9-7で下し優勝、B組は幸地Bが棚原Bを12-2で下し優勝した。

町婦人会、身体障害者福祉のために町社協へ二十万円寄付

十二月四日午後、中央公民館で町婦人会（大城静子会長）主催の

演芸の集いの収益金を充てる



チャリティ・演芸の集いが行われ、延べ千二百人余の観客が詰めかけ大変賑わったが、この日の収益金から町社会福祉協議会に「身体障害者の福祉のために役立てて下さい」と二十万円が贈られた。

我謝壮年会一三〇キロを駅伝

会員の親睦と健康増進を図ろうと一我謝壮年会（宮平善市会長）では、十一月二十七日、初めての本島縦断駅伝を行い、迎戸岬から我謝公民館までの約百三十キロを二十四人が十一時間四十分五秒で完走した。区間は五十八で一人平均五・四キロを走った。

午前五時に迎戸岬を出発し、国道五八号線を南下し、大宜味村塩屋から東村平良に横断、東海岸線沿と国道三二九号線を一路南下し、我謝に入った。

駅伝を終えて宮平会長は「和が自信につながる。体をきたえて来年も参加したい。みんなの意欲が時間短縮につながり、今回は成功であった。」と感想を述べた。



部落に入ると全員が走った

昭和62年 第42回国民体育大会

テーマ・スローガン・テーマカラーが決まる

テーマ 海邦国体

（趣旨）沖繩は海とのかかわりあいの歴史を重ねて来た。海ははかりしれない宝を秘め、海上の道は文化交流のシルクロードであった。それゆえに、われわれの父祖は「船をもって万国への架け橋」となし、国際性豊かな人材を育成した。

海邦国体は、この自然と歴史の流れを背景に更に洋々たる創造への誓いをこめて名づけたものである。

スローガン

きらめく太陽 ひろがる友情（趣旨）沖繩の太陽は、めくるめくほど鮮烈である。この清ら

テーマカラー

メインカラー 赤

「海邦国体」にちなみ、県花「でいご」の色をあらわし、また、海外雄飛と文化創造の情熱と活力を象徴する。

サブカラー 青

澄みきった、海と空をあらわし、限りない未来へ臨む英知と理想を象徴する。

サブカラー 黄緑

美しい島の緑をあらわし、躍動する若さと豊かな友情を象徴する。

乳幼児健診のすすめ

乳幼児期は、身体的、精神的にもめざましい発展を遂げ人生の中で最も重要な時期であります。

その時期に発育状態や栄養の良否、疾病の有無、歯、精神の発達、習癖、予防接種実施の有無確認等



保健婦駐在所

本町では、現在、乳児、一才半、三才児健診の受診率は約七〇％です。乳幼児は、自分で健康を守ることはできません。大切なお子様の一生を左右するのは、お父様、お母様方の心がけ次第です。精神的にも肉体的にもより健康にすくすく育つように一〇〇％受診率を目指しておりますので進んで御参加下さるようおすすめて致します。

西原中吹奏楽部金賞に輝く 第二回九州マーチングコンクール

第一回九州マーチングコンクール
（九州吹奏楽連盟、朝日新聞社）
主催が十一月二十三日、熊本市
の熊本県立総合体育館で開かれ、



第1回九州マーチングコンクールで金賞に輝いた西原中学校吹奏楽部全員、男子16人、女子34人の楽隊で服装もカラフルである。

59年度保育所入所児童募集 二月四日までに申請を

今年四月から、保育所に入所希望する児童の受け付けをします。お申し込みの受付は、一月十七日から二月四日まで町役場福祉課で行います。保育所は、児童の保育に当たることができない保護者に代って日々保育する児童福祉施設

です。入所措置に当たっては、入所基準に該当するものの中から保育に欠ける要件の度合、生活環境等を考慮して決定します。尚、詳しいことについては福祉課にお問合せ下さい。

（電話五〇一五〇一）

本町の西原中学校吹奏楽部（指導 照屋繁子教諭、阿波連本部長）が見事金賞に輝いた。

同コンクールは、演奏に行進と集団演技を加えたマーチングによる吹奏楽で、見せる要素を取り入れたもの。西原中の吹奏楽部は、十五分以内の規定演技で「ロッキーのテーマ」、「ライディーン」を演奏し、十分以内のフエスティバルで「新世界より（ノスタルジック）」、「ポパイ」、「サンチェスの子どもたち」を披露し、三十メー

トル四方の会場をいっぱい使った迫真の演技に観客から絶大な拍手が送られた。男子十六人、女子三十四人、総勢五十人の楽隊で服装もカラフルで、つばな出立ちであった。「音楽性」、「身なり」、「技」などで審査が行われた。

部員たちは、毎日二時間から二時間半練習すると言われ、その練習熱心さと照屋先生の指導が実って今回の受賞につながった。今後の活躍が大きく期待されている。

みんなで福祉の町づくりを推進 第二回町社会福祉大会

社会福祉の充実に向けて意見・体験発表を行い併せて社会福祉に功績のあった方々を表彰しようと町社会福祉協議会と町役場の共催による第二回町社会福祉大会が、十二月九日午後二時から中央公民館で関係者三百人を集めて行われた。

大会は、大会長あいさつ（宮平吉太郎大会長）、福祉行政説明（町社会福祉課長）が行われた後、社会福祉に功績のあった方々や団体の表彰式があり、表彰者に対し大会参加者から絶大な拍手が送られた。

表彰式の後、三名の方々の意見体験発表が行われ、参加者の胸を打ち拍手が浴びせられた。久田友明さんは、十九歳の時、作業中に事故で脊髄を骨折し、十四年後にその後遺症があらわれ、仕事も思うように行かなくなり、通院を続けながら世帯更正資金を借りて花井栽培（菊づくり）をやるようになり、りっぱに更正した体験を述べた。

仲宗根史子さんは、調理ボランティアに参加しての喜びを話し、調理ボランティアの必要性を訴えた。呉屋定子さんは、民生委員児童委員の立場からボランティア活動の必要性と福祉社



育てよう福祉の心、広げよう自立と連帯の輪をスローガンに開かれた第2回町社会福祉大会

産業展示会賑わう

会のあり方考え方を訴え、心のふれあいを深める人間性豊かな社会づくりを強調した。

引き続き、竹内和二郎県社会福祉協議会会長と親泊輝武町議会議長から来賓祝辞を受け、呉屋町老連会長からの大会宣言（朗読）、映写会（典子は今）などがあり大会を終えた。

尚、表彰された方々並びに団体は次の通り。（一）内は出身地。

▲表彰状 沖縄陶業代表者新城信勝（翁長）、坂田ハイツ、ボランティアグループ、与那城章（桃源、玉那覇俊雄（嘉手苺）、久田友明（小那覇）、大城久子（小橋川）

町主催の産業展示会は、十一月二十六日、二十七日、町社会福祉センターで行われ、連日多数の観客が集まり賑わった。

本町で生産される農産物、花卉、農産加工品、手工芸等を一堂に展示して広く町民に公開することに、より地域農業の振興を促すのがこの展示会のねらい。会場前では、花卉園芸品の歳末助け合いのための即売コーナーも設けられ、にぎやかな光景であった。会場内には、豊かに実った結球白菜、キャベツ、冬瓜、大根、山イモ、キュウリ、ねぎ、パパイア、ほうれん草などの農産物や主婦手づくりの漬物、みそ、梅干、しょう油、梅酒などの農産加工品、織物、人形、帽子などの手工芸品等が展示され、訪れた観客の目をひいていた。また、中央公民館玄関前では、菊、ラン、カトレア、ガジュマル、さつき、ハリツルマサキなどの見事な花卉園芸品が展示され、参観者をしばし立ちどまらせた。

尚、各部門で優秀賞を受けた方とその出品作品は次の通り。

▲農産物の部 きゅうり・小橋川貞吉（我謝）、結球白菜・翁長三郎（幸地）、ねぎ・稲福政文（幸地）

▲農産加工の部 タピオカでんぷん・仲宗根政子（幸地）、玄米みそ・澤根静子（幸地）、キュウリのかす漬け・屋良富子（上原）

▲手工芸の部 琉球絣織物・城間ヨシ（安室）、リフォーム・呉屋光子（小波津）

▲花卉園芸の部 盆栽ハリツルマサキ・久田友明（小那覇）、カトレア・外間久一（兼久）、盆栽さつき・玉那覇俊雄（嘉手苺）

▲農協長賞

雷が落ち原油タンクが炎上 本番さながらに 防災訓練



落雷による原油タンク火災を想定して行われた石油コンビナート等防災訓練（南石油）

消防組合消防本部の共催で同社の自衛消防団員七十名、消防本部職員四十名、大型化学消防車などの消防車十七台が動員された。

訓練は、原油貯蔵タンクへの落雷により発火し、自動警報装置の異常警報により団員と職員が出動して一斉にタンクに放水、鎮火するという想定。また、消火作業中に事故にあった消防隊員の救出も行われた。

訓練後、指揮に当たった与那嶺東部消防本部長や小宮南石油副社長から講評があり、「防災対策は、安全点検と初期の内に災害を防止するのが先決であり、さらに訓練を重ね、消防の能力の向上を図ってもらいたい」などと述べるとともに訓練に参加した消防職員の労をねぎらった。